

農業農村整備事業 <公共>

【令和3年度予算概算要求額 398,252 (326,436) 百万円】

<対策のポイント>

農業の競争力強化のための農地の大区画化や汎用化・畑地化、新たな農業水利システムの構築、国土強靱化のための農業水利施設の適切な更新・長寿命化、ため池の防災・減災対策や農業用ダムの洪水調節機能強化、生活インフラや情報通信環境の整備等を推進します。

<事業目標>

- 担い手が利用する面積が全農地面積の8割となるよう農地集積を推進 [令和5年度まで]
- 基盤整備完了区域（水田）における作付面積（主食用米を除く）に占める高収益作物の割合の増加
- 機能保全計画に基づく適時適切な更新等を通じ、安定的な用水供給と良好な排水条件を確保
- 農地及び周辺地域の湛水被害等の防止

<事業の内容>

1. 農業の成長産業化に向けた農業生産基盤整備

（農業競争力強化対策）166,124 (129,127) 百万円

担い手への農地集積や農業の高付加価値化を図るため、農地中間管理機構との連携等により、農地の大区画化や汎用化・畑地化、畑地かんがい施設の整備等を推進します。また、水利用の高度化や水管理の省力化を図るため、パイプライン化やICTの導入等により、新たな農業水利システムの構築を推進します。

2. 農業水利施設の戦略的な保全管理、防災・減災対策

（国土強靱化対策）224,828 (197,309) 百万円

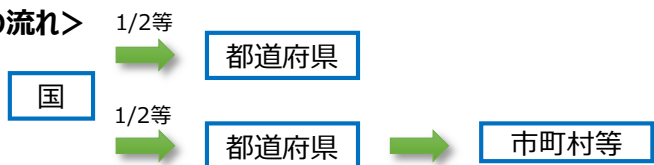
農業水利施設の更新・長寿命化・耐震化、農地の湛水防止対策、ため池の防災・減災対策、農業用ダムの洪水調節機能強化等を推進します。

3. 農村整備（田園回帰・農村定住促進）

7,300 (-) 百万円

集落排水施設や農道、情報通信環境等の整備を推進します。

<事業の流れ>



※直轄で実施する場合は、2/3等

<事業イメージ>

農業競争力強化対策

農業の成長産業化に向けた農業生産基盤整備

- 農地整備を通じた農地集積・集約化の例

現況 → 計画

凡例	面積
A経営体	55ha
B経営体	83ha
C経営体	43ha
調整済農地	51ha

農家数 363戸 戸当たり規模 0.6ha/戸

■ 集落営農参加意者
□ 自家消費希望者

- 大区画化の例
- 汎用化の例
- 新たな農業水利システム（イメージ）

自動給水栓

自動ゲート化

水管理のICT化

水路のパイプライン化

取水施設

調整施設

中央管理

水位・水温の確認
用排水の遮断操作

麦
田
大豆

面的集積

土地改良区による管理

大規模・少数の担い手による管理

国土強靱化対策

農業水利施設の戦略的な保全管理

- 基幹的農業水利施設の標準耐用年数の超過状況

既に標準耐用年数を超過した施設 5.9兆円 (全体の26%)

全体 19.3兆円

非超過 11.5兆円

国営 3兆円

県営等 3.7兆円

国営 1兆円

県営等 1.7兆円

さらに今後10年のうちに標準耐用年数を超過する施設を加えると 7.8兆円 (全体の40%)

- 農業水利施設補修による長寿命化対策

水路の機能診断

補修

農業・農村の強靱化に向けた防災・減災対策

- 施設の耐震化

耐震化前の頭首工堰柱

堰柱を拡幅

耐震化後の頭首工堰柱

- ため池の整備

改修前の堤体

改修後の堤体

【お問い合わせ先】 農村振興局設計課 (03-3502-8695)